狼とワルツ

umraut2025 feat. Kiyama

本CD『狼とワルツ（AI版）』は、前作『水銀の海』のスピンオフ盤として制作しました。前作でも述べたように私達（Kiyama氏、Tsubo氏、Kuma）は大学時代の音楽サークル仲間で今も昔も友人。改めて考えると３人という関係性はとても絶妙で、皆離れて生活しているため、実際は電話という二者関係が我々のバランスを維持してきました。電話ではそこに居ないもう一人がよく話題に上りました。〈umraut〉はドイツ語の〈umlaut〉を偶然に綴り違いしたもので、Tsubo＆Kumaの２人ユニットを意味していました。Kiyama氏は、その２人とはつかず離れず、いつも友人・音楽仲間として存在していました。

今回はその彼の作品群にフォーカスし制作しました。タイトルに込めた意味は、"狼"がどこか彼の作品イメージと重なり、"ワルツ"は先にも述べた三者関係。『水銀の海』とは、少しテイスト異なる硬質な出来だと思います。昨年末、AIでの音楽制作を私に教えてくれたのは彼でした。その時は、AIで音楽制作をするなどとは考えていませんでしたが、前作完成後、今回盤収録のある一曲を作ったことが制作の契機になりました。昔の資料（歌詞カードや音源）を引っ張り出してあれこれと作業していましたが、それらは時を経て、言葉を読み込めなかったり、聴き取れなかったり･･･。自分の作品ではないので、40年前の古文書を修復するかの如く、な日々は結構楽しくも「（誰にも頼まれてないのに）何でジブンはこんなことやってんのかな？」と自問自答し、やり始めると終わりまでしないと気が済まない性分と向き合う日々でした。それでも私を支えたのは、学生時代、これらの名曲（詞・曲）に憧れ、愛し、支えられた想いでした。

"AIでの音楽作りもこれで一区切りにしよう。やはり音楽はギターやピアノ等、人力で奏でるのが一番心地よい！"ということは、もちろん分かっていますが、通勤途上に車内で鑑賞する音楽はAIでも悪くない。

いろんな想いが交錯しつつ行なった今回の作業は、Kiyama氏の音楽とAIでの音楽制作を教えてくれた彼へのAnswer Worksでした。2025年のGWは、その作業に没頭しました。

制作途上、「こんなことやってるんだけど、どうかなぁ？」とやりとりを繰り返しましたが、同じ楽曲に対する解釈は制作者本人と第三者（私）で一致しないことも多い、ことを改めて知りました。とはいえ、自身の年齢を考えると何かを創作・表現し、誰かに投げ掛ける時間とエネルギーは限りある、と考えるこの頃です。

本作も前作同様、私的には多くの方々にお聴き戴けると嬉しく思います。

2025年5月, umraut2025（クマモト ショウジロウ；くまもとココロクリニック）

今回の作品の原曲が書かれたのは、1981 - 85 年。Kiyama 氏はサークルの 2 年上の先輩（Tsubo 氏の同級生）でした。当時、彼が学生街（松山市）のどこかに住んでいたことは知っていましたが、それがアパートなのか下宿なのか、個人的な交流があまりなかった為、私は知りませんでした。当時から作品を通じ私は彼をリスペクトし、コード譜や録音テープを入手し、自分でも練習したりしていました。しかしこれらの歌がどんな風景のなかで生まれたのか？今となっては興味深かったりもします。個人的に交流が盛んとなったのは、大学卒業後、umraut での活動（1991 - 92）を始め、それぞれの生活拠点を新居浜や今治、愛媛県では東予と呼ばれる地域へ移してからの頃でした。夜のドライブや近隣住民の迷惑を顧みず、私の賃貸マンションでセッションを共にした日々が懐かしく蘇ります。30 歳代になり、それぞれの青春後期は終わり、時折の電話連絡で互いの近況確認をするといった大人の関係は 60 歳を過ぎた現在も続いています。
収録した楽曲は私（=umraut 2025）の独断でピックアップしました。AI って簡単でしょう？というのは間違ってはいませんが、prompt（指示）をどうチョイスするか、何回やっても自分のイメージを超えるものが出てこなかったりと、決して楽しいだけではない作業でした。しかし、大袈裟にいえば私も元気なうちに、彼に彼の名作（リメイクバージョン 2025）を届ける、又と無い機会になりました。何よりも歌のなかの言葉達（歌詞）は、今も全く色褪ることなく私に届いています。作ってよかった！
一篇の小説を読むように、アルバム全体を鑑賞下されば幸いです。

〈umraut2025 feat. Kiyama 1985, Matsuyama〉

・Contents

01. 夢風
02. 想い出の A Seafaring Life
03. 悲しいマドンナ（Ver.Smooth）
04. 少年
05. 月下の街でピーターパン
06. Monday Man
07. SOMETHING
08. 永遠のラブソング
09. 卒業式の夜
10. HELLO
11. I Love You
12. San Francisco Story
13. Stay By Me
14. 紫の夜
15. 悲しいマドンナ（Ver.Waltz）
16. Free Bird
17. Midnight Soul
18. Show Time
19. Shing My Love

※ All Lyrics：Kiyama（Takashi Okayama）

All Tracks Prompt to SUNO AI（v 4）by Kuma on iPhone 13 mini （2025.02.23 - 05.06）

歌詞、等、ご覧頂けます⇒

HATADORI is my little symbol of peace & happiness.

Copyright (C) 2025 Penguin Records. All rights Reserved.

夢風　(Lyric ; Kiyama)

振り向けばただ風 想いはまた立ちどまる
足音のほかには 何も見えない街
俯いたままで　時を止めたままで
信じられた光は 今は写真の中
　何が君を変えたのだろう
　僕には分からないけれども
　心を包むことも　今の僕にはできやしない
吹けよ思いのままに 吹けよ心遠く
吹けよ覚えているか
あの日の約束 多分あれは幻

誘われて見た夢 光る水平線　一つの空と海は 今は 異質のもの
「ドアを開けてくれ」と 誰か呼んだようで
振り向けばただ風 そうさあの日の風

　愛は永遠に続く場所へ
　二人行けると言っていた
　優しさのなかで僕を 愛そうとしてくれた愛しい女性へ
吹けよ命の限り 吹けよ信じたなら
吹けよ愚かなほどに
優しく包めよ 今は遠い女性へ

吹けよ思いのままに 吹けよ命賭けて
吹けよあの日のように　吹けよ今すぐ
吹けよ思いのままに 吹けよ心遠く
吹けよ覚えているかあの日の約束 多分あれは幻　そうさあれは 夢風

思い出の Seafaring Life (Lyric ; Kiyama)

古いアパートに想い出の月　向日葵　夏に笑っていた
去年と違う二人の間を　季節は駆け足で過ぎ去っていく
君の指には銀の指輪　15 の birthday に僕があげた
あの頃の君の宝物なのかい？チューリップ聴くたび思い出すよ
　想い出は lonely town　俯いた lonely face　優しさだけが２人を繋ぐ、今
　笑ってよ once again 話してよ sad past 夢をみることも あの頃のよう

独りぼっちになれた頃に　潮の香りが僕を包む
岬の灯りに手招きされて　初めて口にした　君への愛
　想い出は a seafaring life　砕け散る white billow　心に寄せる満ち潮のよう、今
　愛してよ true myself　信じなよ follow me　夕凪の静けさを感じていたい君と

２人で求めた　心の糸が　切れないようにと　手を合わす君
抱きしめてしまおう　折れるほどに　時の悪戯に迷っていたい
君を愛して　夏が過ぎ去り　君を求めて秋に運ぶ
綴る手紙はあの空の青　いつか君にも見せてあげたい
　想い出の a seafaring life　求め合う on a sandy beach　悲しいほど素直な心に寄せて
　重ね合う lip and lip　分かち合う long nights　一粒の愛を 二人で見つめ

　想い出の a seafaring life　あの日から only you　幾つかの旅は ここから始まり
　想い出の a seafaring life　見上げれば blue sky
　幾つもの時をここから超えて　君と生きる　君と

悲しいマドンナ　(Lyric；Kiyama)

心虚ろげに見た　街は銀のマドリード

震えるその手を、暖めてやることもできず

たった一言告げた　背中越しのサヨナラ

流した涙に　償うこともできずに

夢をみた狼達は、語れ、悲しい思い出

ただ一度、心を捧げた、君は悲しいマドンナ

たった独りで見上げた、空は銀のエトランゼ

幾つもの想いは、流れゆく星に、似ている

まさか君を泣かすなんて、

それが最後の答えだなんて

離れたくない、自分が眼の前に居るのに

夢をみた狼達は、語れ、悲しい思い出

ただ一度、心を捧げた、君は悲しいマドンナ

一目逢い　夢で逢い　愛しあい　分かち合い

唯一度、信じあう、心預けた　君想う

夢をみた狼達は、語れ、悲しい思い出

ただ一度、心を捧げた、君は悲しいマドンナ

少年 (Lyric ; Kiyama)

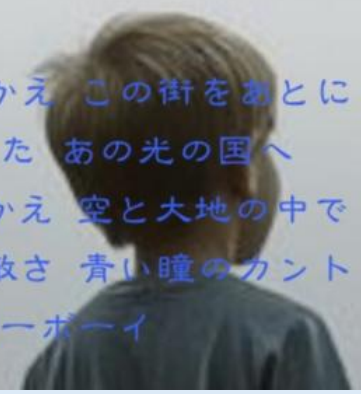
田舎の貧しい少年として生まれ 太陽のひざ元で育ち
誰よりも自然が彼の友達 青い瞳のカントリーボーイ
けだるい風の中で、一日中空を見上げ　流れる雲に問いかけたのは遠い夏の幻
　　都会へと向う列車は、いつしか少年を連れ去る
　　この旅の終わりに少年が 見つけたもの、それは誰も知らないけど
　歌ってよもう一度　歌ってよあの頃のように
　小麦色の肌をした青い瞳のカントリーボーイ

ビルとビルの 間で月日が流れてゆく俯いて歩く少年の 姿を気にする人はいない
灰色の空と灰色の街と淀んだ風の中で、少年は機械の歯車の一部のように毎日働いた
　　アパートの片隅、歌を失くした少年は眠る
　　この夜流した少年の涙を 知っているのは、夜空の星だけさ

その挙げ句少年が掴んだものは 真っ黒に汚れた手に
握りしめた数枚の金貨と孤独という言葉
少年よその金でもう一度 切符を買えばいいさ、
灰色の服は君には似合いやしないさ 昔の君が好きさ
　　水鳥の羽音と そよ風に合わせて、
　　この広い草原いっぱい 君の歌声が、きっと響くだろう

　歌ってよもう一度　歌ってよあの頃のように
　小麦色の肌をした青い瞳のカントリーボーイ
　歌ってよもう一度　歌いなよあの頃のように
　小麦色の肌をした青い瞳のカントリーボーイ

少年よ少年よ 故郷へ向かえ この街をあとに
誰よりも君を愛してくれた あの光の国へ
少年よ少年よ 故郷へ向かえ 空と大地の中で
素直に生きてる君が 素敵さ 青い瞳のカントリーボーイ
戻っておいでよカントリーボーイ



月下の街でピーターパン　(Lyric；Kiyama)

月下の門が開かれたら　夜の街に繰り出すのさ
緑の帽子　緑のジャケット　ピーターパンのおでまし
通りの車のノイズさえ　拍手の音に聞こえるなら
とてもいいね Mystery Tour　信じられるかい Mystery Night

ワンハッタンのプリンセス、まだ僕のことおぼえてるかい?
そうさあの夜　星のかわりに僕の影をぬいつけた
もし僕が迎えに来なくても　そっとあのメロディー口ずさんでよ
できるといいね Mystery Tour　振り返ったなら Mystery Night

いつでも何かが生まれる Rock 'Roll City　たったひとつの愛で今夜は Falling Down
パンドラの箱に James Hook　詰め込んだまま Go On
君だけに 君だけに　今は愛をつげそうさ Baby

二度目の夜に触れて　三度目の海を飛び越せ
歌を忘れた Wendy　夢に疲れた Rock 'Roller
だけど今なら You can fly　信じられるはずさ Peterpan
Way is right, It 's alright, alright

真夜中のドアをノックして　時の階段かけあがり
思い出の箱につまずいたら　Peterpan のおでましさ
独りぼっちじゃつまらない　大人のフリじゃ悲しい　だけど
信じてるよ Mystery Tour　振り返ったなら Mystery Time

いつでも僕だけ見つめなよ Lucky Lady
たったひとつの愛が今夜は Falling Down
思い出の扉こじあけて 震えてる君を抱きしめた
それだけで それだけで　今はもう君は僕のもの

二度目の夜にまぎれて　三度目の海をとびこせ
歌を忘れた Wendy　夢に疲れた Rock 'Roller
だけど今夜なら You can fly　信じられるはずさ Peterpan
Way is right, It 's alright, alright　He-He-Hey、He-He-Hey、Hey, Hey

Monday Man　(Lyric ; Kiyama)

[1]
街が泣いてるようだ　鳴りわたる工場のサイレン
何もない一日が終わり何もない夜の始まり
僕はオイルにまみれた身体を引き摺って
街のはずれにある汚れた家へ 今帰るところ
きっと今頃　家ではママがまた泣いているんだろう
酒に溺れたパパは　半年前仕事を辞めたまま
街はいつもの Monday, The Monday´s 人はまだ底なし 夢の中
叫ぶ言葉が Sunday, The Sunday´s　誘いかけてくる　そうさ夢を見てみろと
僕の部屋のドアを叩かないで　僕は今にも壊れそうなんだ
僕はこの街の歯車なんだ　　そうさ Monday Man, Monday Man,

[2]
あの角を曲がれば彼女の働く Drug Store
だけど愛想笑いで疲れきった顔なんて見たくもない
いつか僕はこの街を出ようと思うんだ
今のままが一番幸せだと彼女は言うけど 言うけど
街はいつもの Monday, The Monday´s 風に舞うニュースペーパー散り散りと
赤い日付は Sunday, The Sunday´s ありふれた見出し 一人の男のサクセスストーリー
僕の部屋のドアを叩かないで　僕は今にも壊れそうなんだ
僕は誰よりも臆病な　そうさ Monday Man, そうさ夢を見てみろと
僕の部屋のドアを叩かないで　僕は今にも壊れそうなんだ
僕は誰よりも臆病な　そうさ Monday Man, Monday Man そうさ Monday Man, Monday Man,

[3]
街はいつもの Monday, The Monday´s　人はまだ底なし夢の中
叫ぶ言葉が Sunday, The Sunday´s　誘いかけてくるそうさ夢を見てみろと
僕の部屋のドアを叩かないで　僕は今にも壊れそうなんだ
僕はこの街の歯車なんだ　そうさ Monday Man, Monday そうさ Monday Man, Monday Man,

Something　　(Lyric；Kiyama)

幼い頃探し続けた dreaming time　ダイヤみたいに光ってたはずなんだと

信じていた時の流れは keep on change　置き去りのままさどこかで close my broken heart

愛だけみつめて、いられたよねあの頃は

途切れた言葉の意味もいつか忘れてしまうのかい

Something 独りぼっちだけど　何かやれるはずと信じていたよ Whether to or not

Do Something あの頃の夢は Everything 受けとめても 支えきれずにいた 悲しみのな

やりきれずに一人飛び乗る Midnight Train　17 の心を照らす Milkyway

何もなくて臆病な日々Hungry Heart　ただ夢だけが、ギラついていた Long Crusing Night

誰かを憎んだ、小さな裏切りのなか

閉ざした心は、いつか標なき道走りだした

Something 優しささえ君を　裁くだけだなんて、思いもせずに Cross my broken love

Do Something あの頃の愛は Everything 分かち合っても解り合えずにいたよと惑いの

愛だけみつめて、いられたら素敵だよね

閉ざした心の線がいつか君に届くまで

Something 独りぼっちだけど　何かできるはずと信じていたよ Whether to or not

Do Something 心のなかの Something

信じてるさ、見つけだすまで ずっといつまでも…　Something

永遠のラブソング　(Lyric：Kiyama)

片思いでも恋は恋だぜ　思えるならそれでいいじゃない
なり振りなど構っちゃいられない　愚かしいほど若かった日々
おまえと出会いおまえを愛したこの街が誰よりも知ってる
あの頃より確かな oh sweet my heart 感じていた holidays
　誰よりも想い出あるから素直にはなれないけれど
　何よりも大事にしてた恋さ It's ok 苦い傷で残ればいい
思い出は幾つもなくていいさ 心震えるほど素敵であればいい
優しさはひとつあればいいじゃないか
愛する女性だけ見つめていられれば　それで最高

二人で作った思い出のラブソング今夜は一人で歌ってる
昔から寂しがり屋の君だもの 今夜も誰かの腕の中さ
　優しさはいつも空振りさ それ以上愛せやしなかった
　雨の夜 二人抱き合って傷つくだけの辛い恋に別れ告げたね
誰よりも幸せあげたかった女性よ 僕を忘れるほど幸せになればいい
眠れない夜にも愛を責めないで 愛した日々だけ見つめていたいさ
それでいいよね
誰よりも優しさあげたかった女性よ 僕を忘れるほど幸せになればいい
眠れない夜にも愛を責めないで愛した日々だけ見つめて
思い出は幾つもなくていいさ 心震えるほど素敵であればいい
優しさはひとつあればいいじゃないか 愛する人だけ見つめなよ
それでいいさ、それが最高

卒業式の夜　(LYRIC:KIYAMA)

君は両手にバラを抱え　来るはずのない人を待ってる

僕は車のドアにもたれ　声も掛けれず それを見てる

暗い海原を貨物船が 行き先告げず 通り過ぎていくよ

涙がこぼれたようにみえた

いつのまにか　季節はずれの　雪が君の髪に積もる

忘れてしまえるかい 愛しあった日々を　あんなに好きだった　彼の笑顔

心の軋む音、聞こえるようさ　海に落ちては、鈍く光って消えてく

何か呟いたようにみえた

悔しいけど　会いたいよね　今のままじゃ　分かんないよね

君は両手にバラを抱え　来るはずのない人を待ってる

僕は車のドアにもたれ　声も掛けれず 海を見てる

Hello　(Lyric；Kiyama)

悲しい夜ならばそれは every day　独りぼっちでいられずに街を彷徨ってく

心を開けばやがて endress night　言葉は 溢れてゆく

あの頃の想い出は いつでも happy time 恐れるものはなく 傷つけることもない

無邪気な愛の日々 それは endress love　やがては男と女

Hello Hello 忘れたはず 胸のときめき

Hello Hello 破れた写真の一コマ

心は戻ってゆくさ　少しずつあのへ

I singin' memorial so　in the love distress in night　Hello my girl

寂しさに目をふせて動けない every night　闇の中の声をいつしか 必死で追い求めた

雨の夜街の隅 寂しさ震えている　あなたを見つけてしまった

少しずつ少しずつ重ねゆく happy days　二人とも昔の風に触れることを恐れながら

幸せと呼びたくて そんな虚ろな日々でも　ほんとうにそう信じたくて

Hello Hello 想い出のなか 一番優しかった女性

Hello Hello おどけた会話の一コマ

誰も知らなくても　僕だけは忘れないさ

I singin' memorial so　in the love distress in night Hello my girl

I Love You （Lyric:Kiyama）

笑い顔壊れた　ショートカットの君が立ち止まる夜の交差点
切なさに追われた　僕がそこに居たのは　たぶん偶然じゃないよ
何処に行くつもりかい？　こんな真夜中
振り向かず答えなよ　僕の行くとこじゃだめかい？
　just wanna love you　それが愛のコトバ
　just wanna love you　それは愛のコトバ
　二人が巡り合うずっと前から

淋しさに壊れた　君の心包んであげる　いつもそばに居たいよ
忘れてしまえるさ　いやな過去なんてみんな　僕がそうさせてあげるよ
古い映画みたいに人目しのんで
君の瞳みつめ愛を告げてもいいかい？
　just wanna love you それが愛のコトバ
　just wanna love you それは愛のコトバ
　二人が信じあうずっと前から

　just wanna love you（just wanna miss you）
　それが愛のコトバ
　just wanna love you（just wanna miss you）
　それは愛のコトバ
　二人が信じあうずっと前から

　アダムとイブが愛し合った　あの時から
　君の僕が巡り合う　ずっと前から

San Francisco Story　(Lyric ; Kiyama)

サヨナラを僕はまだ言えなくて　思い出に問い掛けた日々よ
あの頃はまだ一人の旅人で　あてもなく街を彷徨う lonely guy
　振り向いた凍るような眼に　妖しげな足音
　いつまでも僕を見ている blue eyes
　街のどこからか聴こえてくる　rhythm and blues
San Francisco Moonlight 歩き続けたオールナイト
全て幻だと　いつか二人思うのかもね
君と僕が巡りあったストーリー

古ぼけたアパートの片隅で　あてのない愛に震えた　all days
信じあうだけで 過ぎゆく日々が　こんなにも幸せかと思った
　透き通る青い目のなかに　もうひとりの君がいる
　捉えきれず抱きしめた手を　すり抜けて消えていった lovely girl
San Francisco Story 叶えてよおくれよ once again
愛しあう二人ならば　いつかきっと巡り会えるさ
君と僕が繰り会ったこの場所で　きっと、きっと…

San Francisco Moonlight 歩き続けたオールナイト
すべて幻だと　いつか二人思うのかもね　君と僕が巡り合った
San Francisco Moonlight ah-ah-ah-

STAY　BY　ME　(Lyric；Kiyama)

いつもそういつも二人で見ていた空は、あんなに青くて高い、それは今でも同じ
君はそう君は優しさわかる人で、淋しい心はきっと、慰めてくれたものさ
　真面目に好きだなんて照れて言えないけれど
　分かり合える夜を待つ
　僕らはきっとジョンとヨーコのようになれるさ
　この星の片隅でそう信じた
Stay　by　me　そばにいてくれたね、こんな切ない夜はそうさ
Stay　by　me　君の愛だけが、僕を支えてくれたよいつも

いつかそういつか二人の部屋を持とう、本を読む僕のそばで、君は編み物をする
君はそう君はただうつむいたままで、「ステキね」と一言、でもそれは何か違う
　二人を止めるものなんて何も見つからないのに
　君がやけに小さく見えた
　確かめ合った肌のぬくもり、それはまぎれもなく
　偽りのカケラもない愛だったよ
Stay　by　me　そばにいてくれたら、こんな苦しい夜は来ないさ
Stay　by　me　君のグラフィテー、部屋の壁に残したままさ

　真面目に好きだなんて照れて言わないぼくを
　君は分かっていたよね
　僕らはきっとジョンとヨーコのようになれたさ
　今度生まれてきてもきっとそうだよ
Stay　by　me　そばにいて欲しいよ、こんな切ない夜はそうさ
Stay　by　me　oh-　stay　by　me
Stay　by　me　oh-　stay　by　me

紫の夜　（Lyric；Kiyama）

ボロボロに疲れ果てても　こんなポンコツ転がしてる
辿り着けばサンセットタウン　知らない人の群れだよ
俯いてばかりの Mary や John は坂場で夢を拾い集めてる
冗談じゃないよまったくアクセル全開で飛び出してゆく 闇の中

　赤と黄色のネオンライトが光っているよ　注意信号、だれもかれも逃げるんだよ
　こんな場所でおまえに遭わなければ、もっともっとバカ出来たよ
Oh-Purple Night 紫の夜が落ちてくる
Oh-Purple Night 誰も独りじゃ寂しいのに
なんてこったいこんな夜に　取り残されそうな　おまえと俺

人恋しさにうなされるくらいなら　一晩中でも走るよ
どうしてだろう今夜は　星に手が届きそうだよ
いつだって他人に裏切られてきたから　失くして困るもの、もうないよ
おまえだってもう俺のこと　忘れちまってもいいよ　本当だよ
　いつの間にか行き止まりは、紫の海　赤と黄色のお星様流れてくよ
　願い事は幾つ叶えてくれるつもりなのかな？　もっともっとバカしたいのに
Oh-Purple Night 八月の夜に墜ちて来い
Oh-Purple Night 誰も独りじゃ寂しいのに
どうしてだろうこんな夜に　巡り逢った　おまえと俺

こんな夜しょうもない Tonight　誰も彼も自由だと思い込んでる
一番可愛そうな人を見つけて　Happy Time　まさか自分だとは思わないから
どうしてこんな夜に一人でいたの？どうしてこんな夜に一人でいられるの？
どうして…どうして…どうして…どうして…

Oh-Purple Night 紫の夜が落ちてくる
Oh-Purple Night 誰も独りじゃ寂しいのに
Oh-Purple Night 八月の夜に墜ちて来い
Oh-Purple Night 誰も独りじゃ寂しいのに
どうしてだろうこんな夜に　巡り逢った　おまえと俺

悲しいマドンナ　(Lyric；Kiyama)

心虚ろげに見た　街は銀のマドリード

震えるその手を、暖めてやることもできず

たった一言告げた　背中越しのサヨナラ

流した涙に　償うこともできずに

夢をみた狼達は、語れ、悲しい思い出

ただ一度、心を捧げた、君は悲しいマドンナ

たった独りで見上げた、空は銀のエトランゼ

幾つもの想いは、流れゆく星に、似ている

まさか君を泣かすなんて、

それが最後の答えだなんて

離れたくない、自分が眼の前に居るのに

夢をみた狼達は、語れ、悲しい思い出

ただ一度、心を捧げた、君は悲しいマドンナ

一目逢い　夢で逢い　愛しあい　分かち合い

唯一度、信じあう、心預けた　君想う

夢をみた狼達は、語れ、悲しい思い出

ただ一度、心を捧げた、君は悲しいマドンナ

Free Bird ～自由な鳥でいられるならば～　(Lyric ; Kiyama)

跪くことに疲れた just now people 闇を待つ、夢をみる、少なくとも I feel love

繰り返すことに飽きたのさ midnight my オルゴール 夜の闇引き裂いて　自らねじまくのをやめた,

どうしてこうなるの 教えてよ　どうしてそうなるの 教えてよ

答えてよ 答えてよ 恥ずかしがりやの　many many many many…many goes

I wanna be free bird　何より素敵な水色の時

I wanna be free bird　信じるだけ高く 高く fly free bird

夢見るのが恐いのかい？just now people　手を伸ばせば 大声で叫べば 少なくとも I hear it

誰かのために歌いたいのさ 覚えたての love song　あの頃ほど素直には 今は言い出せないけど

どうすれば一番自然なのかい 教えてよ　どうすれば幸せになれる教えてよ

答えてよ 答えてよ black white&yellow　many many many many…many people

I wanna be free bird　もしもそれで許されるのならば

I wanna be free bird　限りなく強く 強く fly free bird

どうすれば一番自然なのかい教えてよ どうすれば幸せになれる教えてよ

答えてよ 答えてよ black white&yellow　many many many many…many people

I wanna be free bird　もしもそれで許されるのならば

I wanna be free bird　限りなく高く 高く fly free bird…　fly people…

Midnight Soul　(Lyric；Kiyama)

いい加減な夜が街を隠す頃　思い出してるせつない思い

掴みそこねちまった　優しさはみんな あいつのもの

お喋りな DJ 愛を語ってる 夢みるように　彼女の前で-

いい加減なものさ他人のセリフはもう、ウンザリなんだ

　言い訳ばかりの　二人ぼっちの日々に 聞き分けのない愛は

　夜を裂いて街のどこかへ 消えてった、だから

Midnight Soul 夢の続き　Midnight Soul 歌い続ける

愛だと気付かず 傷ついた二人のため

Midnight Soul いかれた声で　Midnight Soul 今も with you

寂しさだけで愛していた　何も持たない　夢みる時代-,

乾いたココロを　潤すだけのラブソング口ずさんでる

信じていたアイツもオレも　怯えながらも　アイツもオレも

ポケットのなかは こぼれ落ちるほどハートブレイク こぼれ落ちるほど…

　時だけが過ぎた　二人ぼっちの部屋で いたずらな夜は

　心を裂いて光までも うばってく だから

Midnight Soul 夢の続き　Midnight Soul 探している

愛していながら 別れゆく二人だから

Midnight Soul イカれた声で　Midnight Soul 今も with you

SHOW TIME　(Lyric:Kiyama)

閉め忘れたドアを蹴って夜の歌がとどく
すべてを放りだして飛び出していくsunset town
ハリボテの街を照らし出すネオンライトの下
戸惑いも 怖れも ルビーの滴に変えていくさ
　SHOW TIME 街は SHOW TIME 偽りの愛で
　SHOW TIME 街は SHOW TIME 本物が買える
　It's a SHOW TIME

狂ったノイズのなかで 恋に戸惑う Black Cats
優しさはいくらで 取引されていくのかい？
おどけた街の獣たち はしゃぐ Jukebox Voice
すべてが悲しい道化を演じているのならば
　SHOW TIME 街は SHOW TIME グラスのマティーニを
　SHOW TIME 街は SHOW TIME 飲み干したあとは…
　It's a SHOW TIME
Woh、寂しいからここに居るのさ　誰かにわかってほしいのさ Oh-Yeah
疲れたハートをだきとめてよ Oh-Yeah
愚かに戯けていられればイイね　全て忘れて、Ba· Ba· Bad Day Tonight
Dance Dance Dance 今夜は　愛や恋や夢に溺れる
イカれたヤツも イジけたヤツも みんなここへおいでよ
　SHOW TIME 街は SHOW TIME ビロードの空とビードロの月の下で
　SHOW TIME 街は SHOW TIME 二人を飲み込んだラストのパレードが行く

ポケットのなかの夢を ありったけやるから
今夜は僕だけのために 奏でておくれよビバッパー
　SHOW TIME 街は SHOW TIME 繋がれた愛に溺れるなら
　SHOW TIME 街は SHOW TIME こぼれた希望が輝くまで
　SHOW TIME 街は SHOW TIME ビロードの空とビードロの月の下で
　SHOW TIME 街は SHOW TIME 二人を飲み込んだ
　ラストのパレードが行く　パレードが行く Oh-

Shinning My Love　(Lyric ; Kiyama)

15 の頃に見た夢が 二十歳に終えるはずもなく

心は俯き、閉ざされた時間のなか、唯一の愛が壊れた

切れ目なく刻むデジタル時計 誰かが残した生活

あの頃欲しかったもの、つまらない勲章　ときめきのない明日

　ねぇ君、思い出も、少しはあるよね？

　誰よりも幸せにしてやれると、独りよがりの、日々でも

Shinning my love,I wanna be free again 心の鎖 断ち切り

Shinning my love,I wanna be free again 心たやすく、傷ついた日々

振り向くことなく歩いてゆけば 早く大人になれるの

一度傷ついたら誰も、愛してくれないなんて、君は信じているの？

幸福行きの切符は、今はもう要らない　たとえどんなに苦しくても

別々の生き方 選んだ二人だけれど　いつか解りあえる

　ねぇ君、愛なんて、どこにでもあるよね？

　いつだって優し過ぎると、僕を見つめてた人よ

Shinning my love,I wanna be free again 心の鎖 断ち切り

Shinning my love,I wanna be free again 心たやすく、傷ついた日々